

## 1年生も体育大会の 成功に大きく貢献

今年は、コロナ対策のため、例年行っている競技ができなかったり、ご家族そろって応援できなかったりという形での実施となった体育大会でしたが、子どもたちの頑張りと保護者の皆様のご協力のおかげで、例年以上に素晴らしい体育大会となりました。

生徒たちにとって中学校で初めての体育大会ですから、勝手が分からないところもあったと思います。十分に練習をさせてあげたいところでしたが、1年生の練習の時間にだけ一時的に土砂降りになってしまうこともあり、本番しっかりできるか心配な部分もありました。

しかし、本番までの間、各学級では密かに作戦会議が行われていたようです。特に「伊敷旋風」は、第1回目の練習では1位とだいぶ差をつけられていた他の学級が、作戦会議で細かなところまで作戦を立て、だんだんと各学級の差がなくなっていきました。

そして迎えた本番では、練習で2、3年生になかなか追いつけなかった集合や整列もきびきびと動き、1年生だけがテントにいる時にも応援団が中心となり団を盛り上げるなどよく頑張っていました。競技でも学級が一致団結して1位を目指す姿があり、役員として仕事をした人たちも集中して一人で黙々と仕事をこなす真剣な眼差しがカッコ良かったです。

体育大会の成功に1年生も大きく貢献することができました。この体育大会を振り返り、課題は少しでも修正し、成果は更に伸ばして、次の文化祭もみんなで一致団結してよいものに仕上げたいと思います。

## 体育大会を支えた1年生

## できることに一生懸命



## 忘れ物撲滅大作戦!

素直で元気でこれからの成長が楽しみな1年生ですが、みなさんがすくすくと成長していくためにも改善が必要などころがあります。それが「忘れ物」です。

上履きクリーンデーの翌週月曜日には、必ず数人が上履きを忘れる。毎日のように誰かが組章・ネームを忘れて、職員室に借りに来る。月・水・金の箸の日に、箸忘れゼロだったのはこの半年間でわずか1日のみ。体育大会の全体練習でも、毎回忘れ物が一番多いのは1年生……。



中学生に話をするとき、いろんなことをスポーツで例えると分かりやすいようです。では、部活動の試合の日に「シューズを忘れた」「スパイクを忘れた」「ユニフォームを忘れた」ら、試合に出ることはできませんよね。練習してきたことも水の泡です。また、「忘れ物をしない」ことは、社会人になってからも必要な力です。今のうちから、忘れ物をしない自分を育てていきましょう。そのためにどうすればよいか?何が出来るか?個人としての対策、そして学級が忘れ物ゼロになるための対策を知恵を出し合って考えてみましょう。